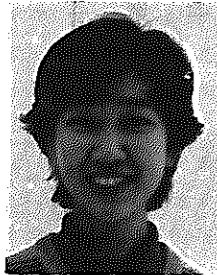




笑顔の絶えない家庭をつくりたい



須田美幸さん (一の町1・26歳・家業手伝い)

休みのときや仕事の合間に、よくししゅうをしています。友達との結婚や誕生日のときに、手作りのプレゼントを贈ることが出来ます。

市内に体育施設があったら、いろいろなことをやっていたと思います。スポーツはスキー

職場、サークル活動などでがんばっている若者たちを紹介しています。自薦、他薦、いずれも大歓迎です。係へご一報ください。



わが家のアイドル 堤 孝太ちゃん(1歳11か月) 孝昭さん・秀子さんの長男(目の出町)

# ま ち の 話 題

## 学校、家庭、地域の連携を深める(生徒指導会議)

十一月二十八日、産業厚生会館で「第二回生徒指導会議」が開かれ、学校、PTA、地域の代表など約百人が集まり、連携して子供を健やかに育てようと、それぞれの立場から意見を交換しました。

今回は、学校部会と家庭・地域部会に分かれ、話し合いを進めました。結果を要約して紹介します。

▽学校部会  
——最近の子供にとって、何が問題となっているか——

①テレビゲーム ●家に閉じこもり遊びがなくなる ●友達づくりや付き合いができません、人間関係が希薄になる——などから、人間形成上、大きな問題となってくる。現在、あまり問題のない地域でも、これから広がることが予想され、十分注意が必要である。

●いじめ いじめとけんかを区別して考える必要がある。けんかは子供たちが何人か集まれば、当然



生まれ、けんかを通して人間形成が行われる。それをいじめだと決めつけると大変なことになる。いじめとは●強い者と弱い者が初めからはつきりしている ●非常に計画的、継続的である ●数人のグループで行われ、いじめられる子には反抗する気力がない。

③校則、きまり 基本的なしつけや指導が十分なされていないことが、逆にくまったり校則を生んでいるのではないかと、お互いもう一度考え直していく必要がある。

▽家庭・地域部会  
①地域の行事への参加 ●内容を工夫すれば参加が増えるのではないかと ●親が同行すれば効果が上がるし、親子の対話も進む ●子供たちにその価値を認識させ、自発的に責任感を持って参加できるようにすることが必要 ●中学生の参加は難しい問題だが、中学生自身はお祭り騒ぎが好きで、何かをやりたい気持ちを持っているのではないかと。その気持ちをどう参加に結びつけていくかが大事。異性に対する関心が強いわけだから、その辺の気持ちも配慮する。

②子供とのかかわり方 ●子供の発達段階での心理状態を十分に考える必要がある ●お互いにかつ

ては小・中学時代を経験してきているが、そのころの気持ちを忘れて、今の子供たちの気持ちに通じていないのではないかと ●地域の連帯の基は家庭にある。家庭内での連帯を親はもっと考える必要がある

③あいさつ運動を全的に推進 あいさつ運動は各地区で進んでいるが、もう少しがんばる必要がある——これはその後の全体会でアピールされ、今後、各家庭・学校・地域で、全的に推進していくことを確認しました。

## 小学生会議もスタート

十一月二十六日、白根小学校で「第一回市内小学生会議」が開かれ、各学校の児童代表六十六人が、



初めてのせいか緊張していた児童たちも、レクリエーションで楽しく交流

お互いの児童会や学級の活動を紹介し合い、レクリエーションなどで交流を深めました。最後に代表の児童が「ほかの学校のよいところを参考にし、悪いところは直して、楽しい学校をつくりあげていきたい」と、終わりの言葉を述べていました。

## 統計功勞で表彰

昭和六十年統計功勞表彰式が、十二月五日、県庁で行われ、次のかたが表彰されました。

### 小林さんが総務庁長官から



労働力調査の功勞により、小林勝さん(東町・六十歳)が、務総庁長官から表彰されました。

### 荒木さんが県統計協会総裁から

統計功勞により、荒木宏さん(和泉・六十三歳)が、県統計協会総裁から表彰されました。

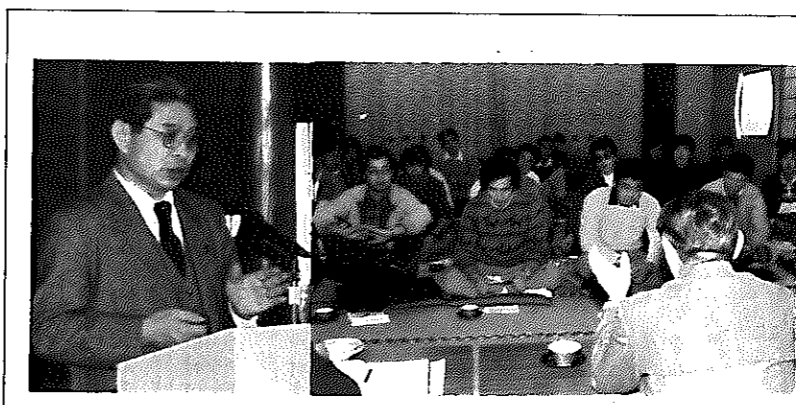
## 市長と農業青年が懇談

青年農業会議

市青年農業会議では十二月二十七日、市長を講師に招いて、講演と懇談会を開き、集まった会員約三十人は、市長に活発な意見や要望を出していました。

『白根市農業の展望』をテーマにした講演で市長は「飛躍的に進む農業技術の革新や、変動する国際情勢に対応できる農業であってほしい。そのため基盤整備事業の促進などにより足腰の強い農業と、人材育成のための後継者の能力開発が重要」と、若者を前に期待感をこめて話していました。

懇談会では、食糧管理法や水田利用再編対策、制度資金に対する市の利子補給など、たくさん質問や意見、要望が出され、予定時間を大幅に延長する熱のこもった会合となりました。



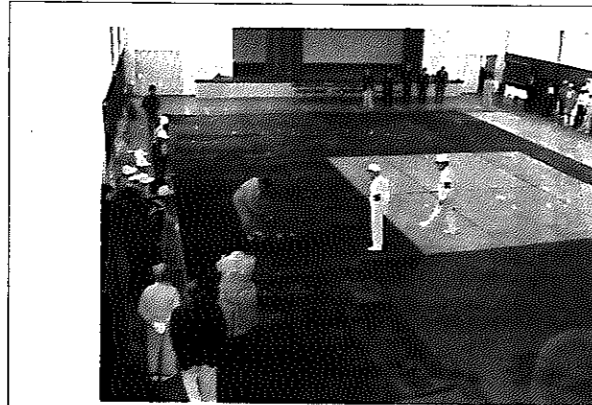
## ゲートボールコート完成

青年教育センター

十二月十日、青年教育センター体育館で、室内ゲートボールのコート開きが行われました。

これは、無償で払い下げを受けた旧県庁の議場、監査委員室、県警本部長室のじゅうたん十枚を縫い合わせ、縦二十枚、横十五枚のすばらしいゲートボール専用コートを作ったものです。

コート開きでは、市長の始球式の後、市ゲートボール連盟(会長 高橋秋衛さん)の練習試合が行われ、参加した人たちは「これで冬期間でも、ゲートボールができる」と喜んでいました。



## わが家のアイドル

堤 孝太ちゃん(1歳11か月) 孝昭さん・秀子さんの長男(目の出町)